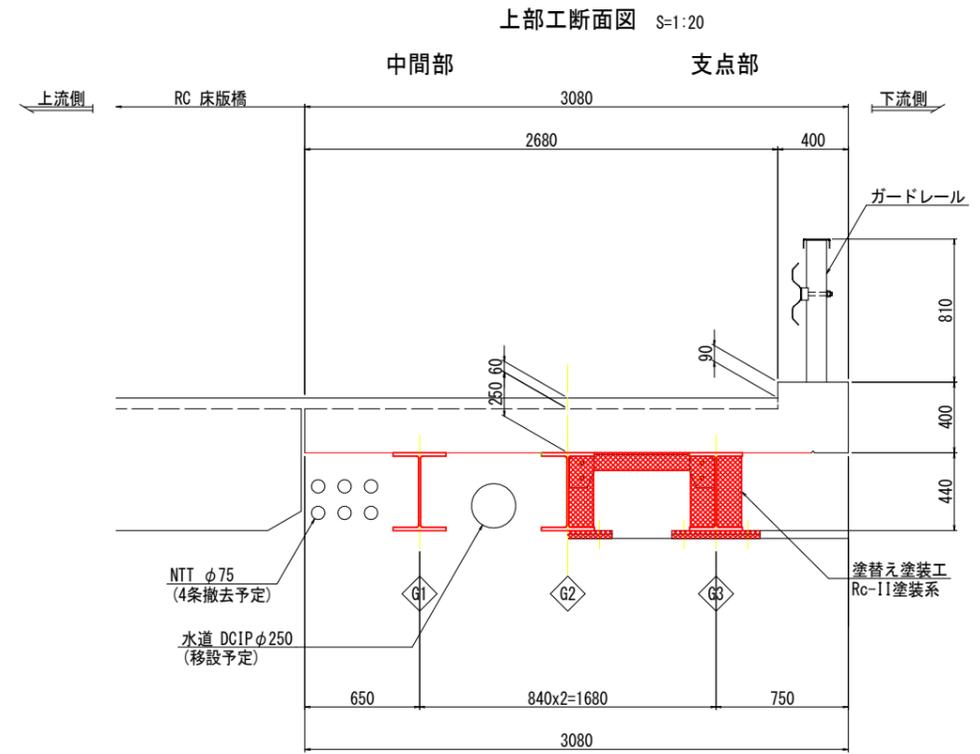
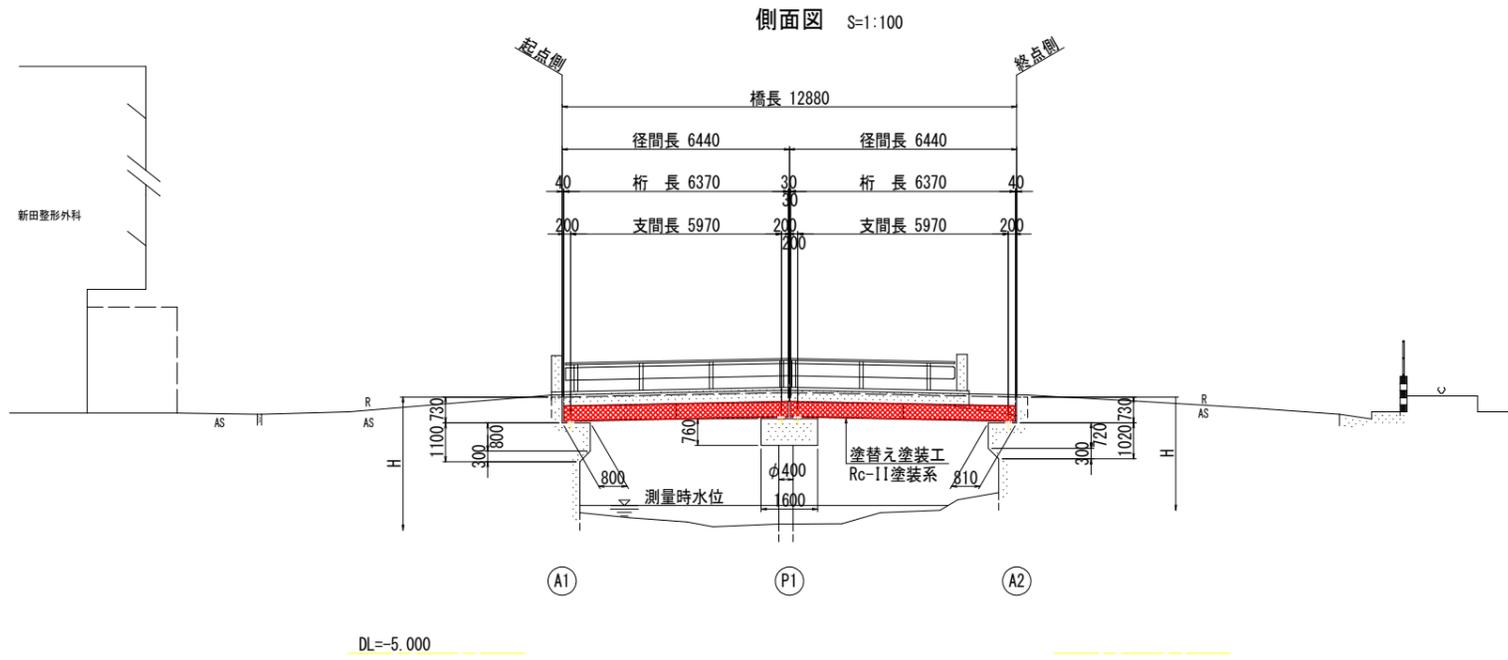
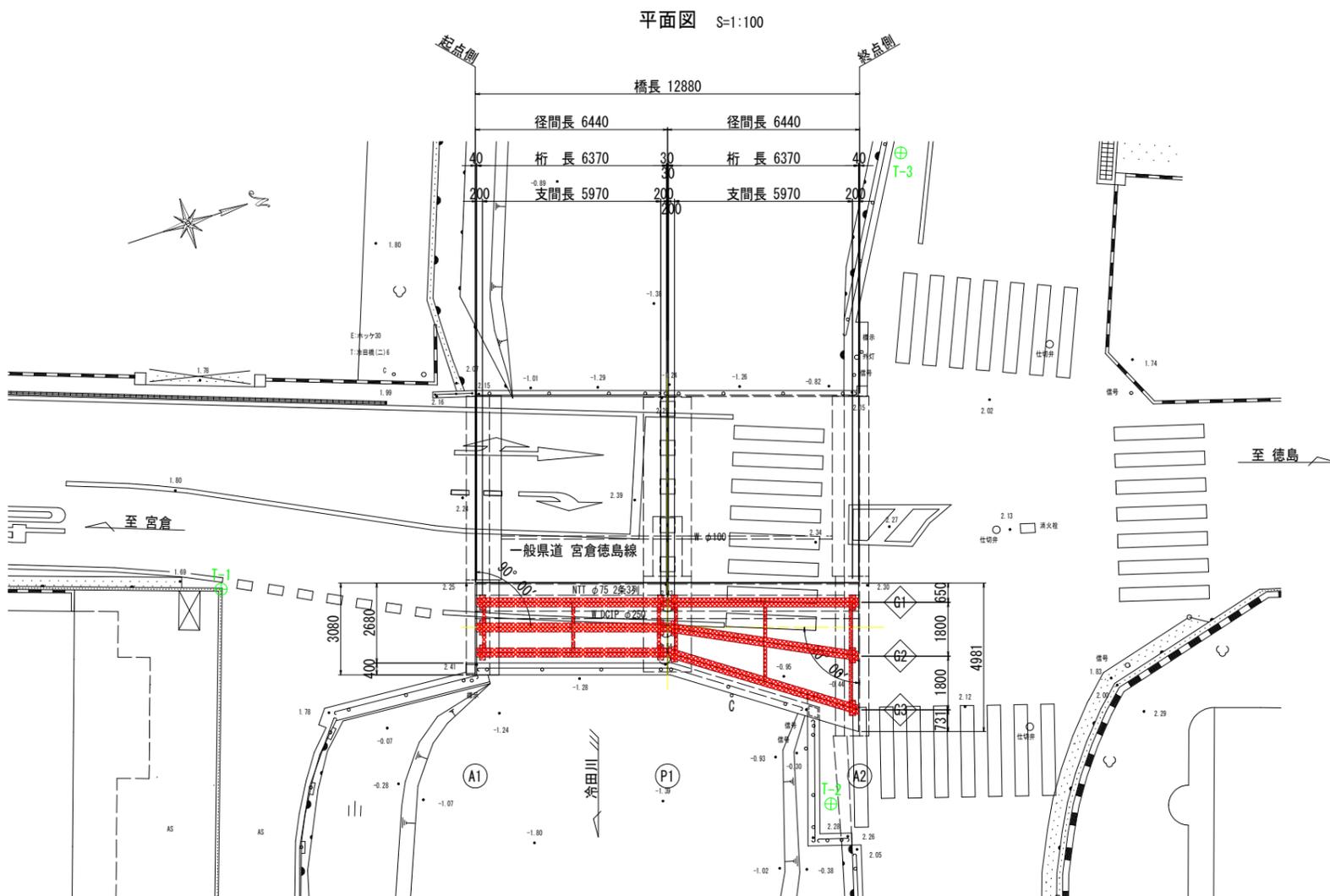


# 冷田橋 補修計画一般図



注記)  
上部工断面図は第1径間側の形状で作図している。



冷田橋 補修計画概要一覧表

補修位置	名称	仕様	備考
上部工	塗替え塗装工	Rc-II塗装系	主桁、横桁、支承

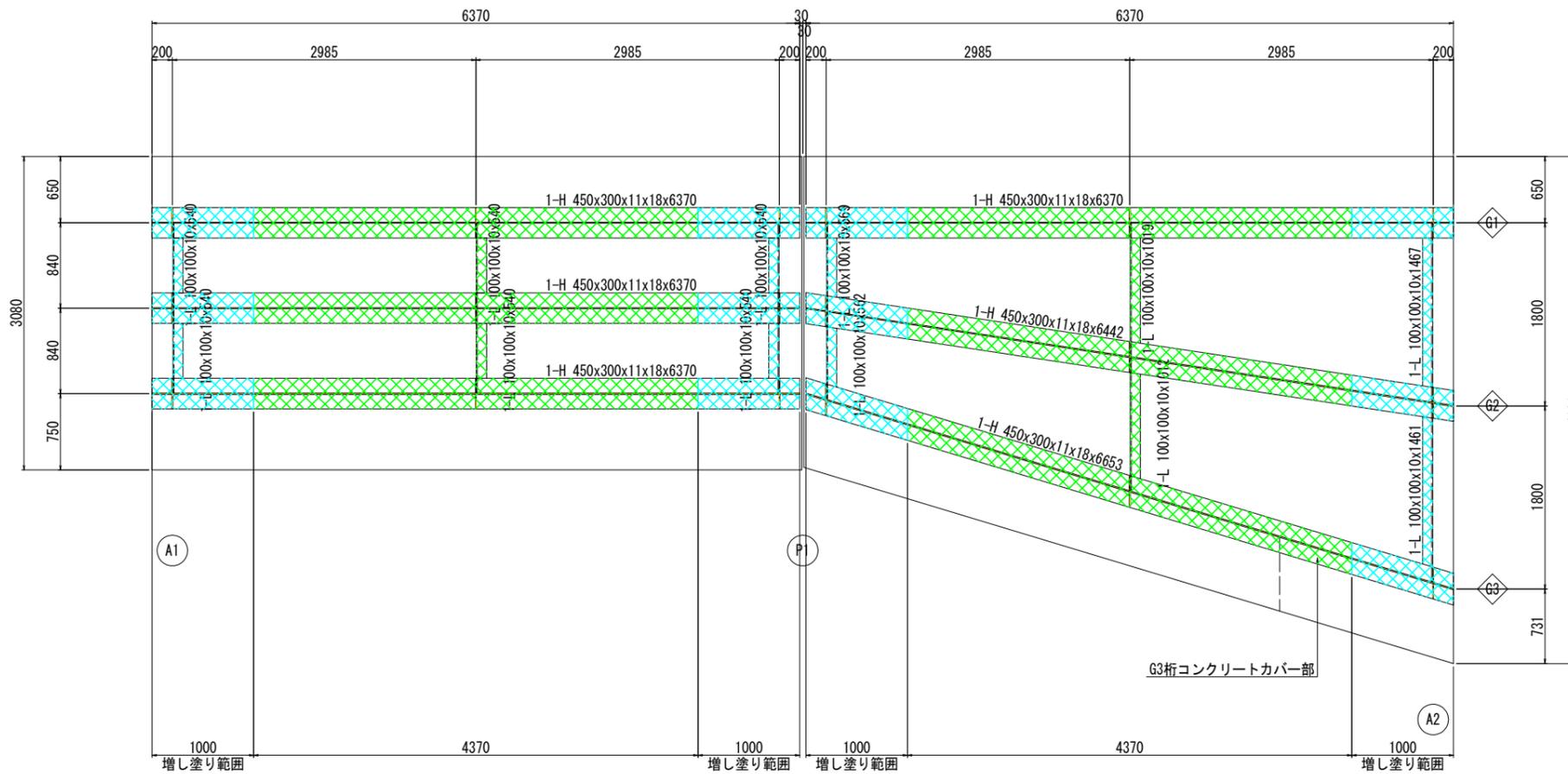
実施設計図面

工事名	R7徳土 宮倉徳島線 (冷田橋) 徳・八万 橋梁塗装工事		
路線名等	宮倉徳島線		
工事箇所	徳島市八万町 (冷田橋)		
図面名	冷田橋 補修計画一般図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 2
年度	令和7年度		
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

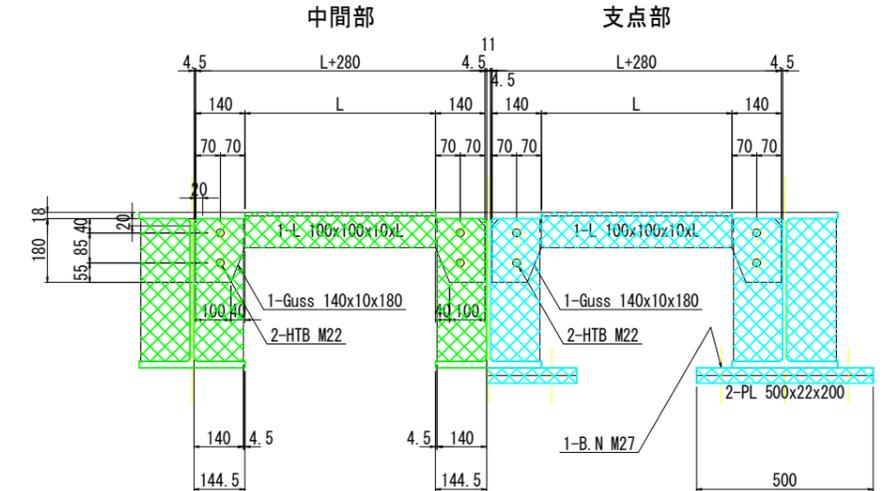
注記)  
1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。  
2. 寸法は現場実測後決定すること。

# 冷田橋 塗替え塗装工詳細図

平面図 S=1:30



横桁正面図 S=1:10



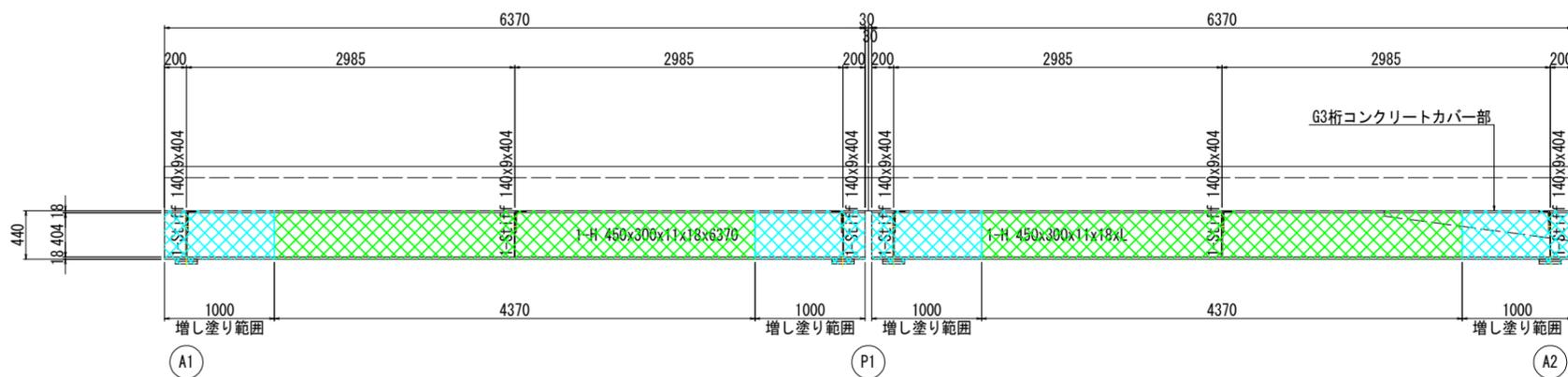
## 塗替え塗装工

塗替え塗装仕様：RC-II塗装系（はけ、ローラー）

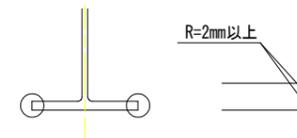
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	標準膜厚 (μm)	塗装間隔
素地調整	2種			4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント ※1	600	—	1日～10日 ※2
下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60	1日～10日
下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60	1日～10日
下塗 ※3	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	30	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	25	1日～10日

※1: 素地調整程度2種ではあるが、健全なジンクプライマーやジンクリッチペイントを残し、ほかの旧塗膜を全面除去した場合は、鋼材露出部のみ有機ジンクリッチペイントを塗布する。この際、使用量の目安は240g/m<sup>2</sup>程度とする。素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量を600g/m<sup>2</sup>とする。  
 ※2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。  
 ※3: 桁端部のみ下塗りを1層増し塗りする。

側面図 S=1:30

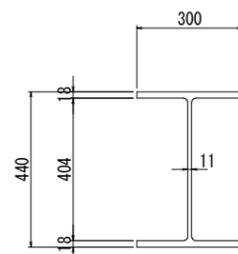


## 部材の角部処理



注記)  
 1. 塗り替え塗装の対象となる範囲の、自由端角部は図に示すようにグラインダー等により曲面加工を行う。ただし、素地調整後に角部処理が確認できた場合は、施工対象としない。  
 2. 処理延長は、現場での施工延長を計上し確定する。

主桁断面図 S=1:10



注記)  
 主桁断面図の寸法は、H450x300x11x18の実寸法を示す。

凡例

	RC-II塗装系
	RC-II塗装系増し塗り(下塗り)

## 注記)

- 本橋の既存塗装材料には、「鉛又はその化合物」「PCB」が含まれているため、鉛中毒予防規則等関係法令に従い、湿式による作業の実施、作業主任者の選任と適切な作業指揮の実施、有効な保護具の着用等を実施する。  
 ※) 過年度塗膜調査にて確認済み。
- 本橋の素地調整工法には、「塗膜剥離剤」を使用した工法を基本としているが、構造細部等で素地調整が十分でない箇所は、工具等で適宜素地調整の補完作業を行うこと。
- 湿式塗膜剥離剤は、剥離試験を実施し適正を確認すること。
- 塗装前には、付着塩化物量が50mg/m<sup>2</sup>以下になっていることを確認した後、塗装を行うものとする。
- 階段部および支柱の一部には、「落書き・貼紙防止塗装」を施す。
- 塗膜除去作業により発生した廃棄物は、関係法令に従って低濃度PCB廃棄物として処理すること。

## 実施設計図面

工事名	R7徳土 宮倉徳島線(冷田橋) 徳・八万 橋梁塗装工事
路線名等	宮倉徳島線
工事箇所	徳島市八万町(冷田橋)
図面名	冷田橋 塗替え塗装工詳細図
縮尺	図示 図面番号 2 / 2
年度	令和7年度
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>